

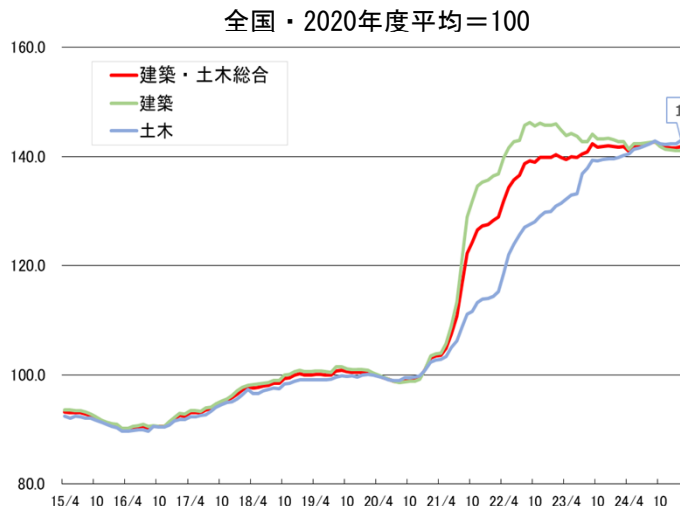
積算資料 建設資材価格指数



一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年2月調査）



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	141.8	+0.2	+0.1
建築	141.1	±0.0	-1.6
土木	143.0	+0.6	+3.1

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	- 生コンクリート：+12.9広島、+5.0新潟 - コンクリート二次製品：+2.0新潟、+1.6札幌、+0.5東京 - 瀝青材：+5.0新潟、+4.8札幌、仙台・広島、+4.3名古屋・高松、+4.0福岡、+3.7大阪、+3.1東京	普通鋼鋼材：-1.1福岡、-1.0大阪、-0.5名古屋、-0.4東京・高松、-0.3仙台・新潟・広島
建築	- 生コンクリート：+12.6広島、+4.8新潟 - コンクリート二次製品：+1.5新潟、+0.4東京	普通鋼鋼材：-1.4福岡、-1.2大阪、-0.7新潟・名古屋・高松、-0.6仙台・広島、-0.5東京
土木	- 生コンクリート：+13.2広島、+5.2新潟 - コンクリート二次製品：+3.3札幌、+2.6新潟、+0.8東京 - 瀝青材：+10.7東京・名古屋・大阪・広島、+10.3福岡、+10.1仙台、+10.0新潟・高松、+9.6札幌	普通鋼鋼材：-0.6大阪、-0.5福岡、-0.2東京、-0.1仙台・名古屋・那覇

指数集計対象資材の市況

2月調査に基づく建設資材価格指数は、建築指数が前月比で横ばいだったものの、土木指数が0.6ポイント上昇し、その結果、建築・土木総合では0.2ポイント上昇した141.8となった。土木指数の143.0は、これまで最高値だった昨年9月の142.9を上回り、5カ月ぶりに最高値を更新した。これは、土木指数の動きに大きく影響する生コンクリートや瀝青材、コンクリート二次製品の市況が、各地で上昇したことによる。工事の遅れや中止に伴う需給緩和の状況下、メーカー側は出荷量の落ち込みによる製造コストに占める固定費割合の増加に苦慮しており、そうしたコストを価格転嫁する動きが各地で継続している模様だ。そのため、生コン等の市況は今後も堅調に推移するとみられ、当面、土木指数が建築指数を上回る動きが続く見通しである。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212